

平成31年度（2019年度）事業計画

（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与する。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

〔参加・体験事業〕

- （1）市民参加の朗読劇
- （2）市民参加型コンサート NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2019
- （3）子どもアート万博
- （4）アジテジ世界大会 2020 in NAGOYA（仮）の準備

〔鑑賞事業〕

- （1）市民のための芸術鑑賞会
- （2）市民半額鑑賞会
- （3）なごや子どものための巡回劇場〈実行委員会形式〉
- （4）アッセンブリッジ・ナゴヤ 2019〈実行委員会形式〉

〔友の会事業〕

友の会会員を対象とした事業を行う。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

- （1）総合舞台芸術公演
- （2）企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展 2020
- （3）舞台芸術創造事業
- （4）名古屋市民芸術祭 2019
- （5）歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭〈実行委員会形式〉
- （6）文化芸術活動アドバイザー
- （7）芸術創造賞の授与
- （8）イベント開催等支援事業
- （9）ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST〈実行委員会形式〉
- （10）文芸による名古屋の魅力発信事業 コトノハなごや〈実行委員会形式〉
- （11）Nagoya チラシデザイン大賞
- （12）アクテノン記念 江崎演劇賞

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

- (1) 文化情報誌の発行
- (2) W e b での催し物案内 ナゴヤ・アート・ナビ
- (3) 文化情報ひろばの運営

4 文化芸術を活用した他分野連携事業の試行実施

[名古屋版アーツカウンシルの実施（試行）〈実行委員会形式〉]

名古屋市文化振興計画 2020 に掲げる「新たな文化芸術の推進体制（名古屋版アーツカウンシル）の検討」を進めるため、必要な事業を実施（試行）する。

- (1) 他分野連携事業
- (2) 体制の構築に向けた検討

5 文化活動拠点づくりのための文化事業

- (1) 施設管理
- (2) 施設事業

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与する。

参加・体験事業

(1) 市民参加の朗読劇 (補助金事業 予算額 4,050千円)

朗読劇 オー・ヘンリー「賢者の贈り物」～ニューヨークストーリーを添えて

朗読の魅力をより深く知っていただく市民参加型朗読劇。出演者をオーディションで決定。

日程／2020年1月11日(土)〈2回〉 会場／瑞穂文化小劇場

構成・演出／ほりみか

(2) 市民参加型コンサート NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2019 (補助金事業 予算額 6,050千円)

地元で活動する学生バンドや社会人バンドが多数出演するジャズを中心とした音楽イベントを開催。

日程／2019年7月27日(土)～28日(日) 会場／オアシス21 等

出演バンド／名古屋芸術大学JAMPA SWING ORCHESTRA、FREE HILLS JAZZ ORCHESTRA ほか

(3) 子どもアート万博 (補助金事業 予算額 8,295千円)

世界の音楽・演劇・舞踊・美術など、様々なジャンルのパフォーマンスやワークショップが楽しめる子ども向け事業。国際交流や文化芸術に興味を持つきっかけをつくるとともに、鑑賞者の裾野の拡大を図る。

日程／2019年12月21日(土)～22日(日) 会場／青少年文化センター等

(4) アシテジ世界大会2020 in NAGOYA (仮)の準備 (自主財源事業 予算額 1,500千円)

世界各国と日本の劇団等による子ども向け舞台作品の上演やワークショップを通じて、未来を担う子どもたちに国際レベルの様々な舞台芸術に親しんでいただく、アシテジ〈国際児童青少年舞台芸術協会〉世界大会2020 in NAGOYAを、東京大会に先立って開催する。

日程／2020年5月9日(土)～10日(日) 広報開始／2019年12月

会場／東文化小劇場、東図書館、名城大学ナゴヤドーム前キャンパス、イオンモールナゴヤドーム前店

鑑賞事業

(1) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 予算額 11,191千円)

大中規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催する。

1. 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会

日程／2019年5月28日(火)〈1回〉 会場／日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

2. 鬼太鼓座コンサート

日程／2019年9月25日(水)〈1回〉 会場／青少年文化センター

3. 人形浄瑠璃「文楽」

日程／2019年10月4日(金)〈2回〉 会場／芸術創造センター

(2) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 予算額 1,600千円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供する。

年間に3回程度実施し、約4,000枚を提供。

(3) なごや子どものための巡回劇場 〈実行委員会形式〉 (負担金事業 予算額 9,000千円)
演劇、人形劇、音楽劇、交響楽、バレエ等の公演を、子どもたちに身近な会場 (文化小劇場など) で開催する。
公演回数/32公演
出演/名古屋フィルハーモニー交響楽団 はじめ7団体

(4) アッセンブリッジ・ナゴヤ2019 〈実行委員会形式〉 (負担金事業 予算額 1,000千円)
名古屋港の周辺エリアで開催する音楽とアートのフェスティバル「アッセンブリッジ・ナゴヤ (9月上旬~11月上旬)」のうち、音楽公演3企画を実施する。
会場/ポートハウス (名古屋港)

友の会事業 (自主財源事業 予算額 12,240千円)

- ①会員向けのコンサートや落語会、講座事業を開催する。
- ②催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行する。
- ③事業団主催事業などの会員向け優先予約や割引を実施する。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与する。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 予算額 33,517千円)

名古屋市文化振興事業団2020年企画公演 ミュージカル「アニーよ銃をとれ」

『ショーほど素敵な商売はない』のミュージカルナンバーで知られるブロードウェイミュージカルの名作「アニーよ銃をとれ」を制作・上演する。

日程/2020年2月22日(土)~24日(月・振休)〈6回〉 会場/青少年文化センター

脚本/ハーバート・フィールズ、ドロシー・フィールズ 改訂/ピーター・ストーン

作曲/アーヴィング・バーリン

上演台本・訳詞・演出・振付/荒巻 正 音楽監督・指揮/上垣 聡

管弦楽/セントラル愛知交響楽団

出演者/オーディションで決定

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展2020
(補助金事業 予算額 3,139千円)

企画者・美術家からのアイデアを一般公募し、コンペティションによる選考を経て、斬新な美術展を開催する。

日程/2020年1月9日(木)~26日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 予算額 7,650千円)

名古屋の演劇人が贈る名作劇場「煙が目にしみる」

名古屋を中心に活動している演出家と俳優が劇団の枠を越えて集まり、質の高い演劇公演を開催する。

日程/2019年12月13日(金)~15日(日)〈4回〉 会場/東文化小劇場

作/堤 泰之 演出/神谷尚吾

出演/名古屋を中心に活動している俳優から選定。

(4) 名古屋市民芸術祭2019 (補助金事業 予算額 8,649千円)

総合的な芸術の祭典として、2019年10月～11月に名古屋市民芸術祭2019を開催する。

1 主催事業

- (1) 名古屋市民文芸祭
募集期間／2019年8月21日(水)～9月20日(金)
授賞式／2019年11月17日(日) 会場／中村文化小劇場
- (2) 企画美術展「昨日とおなじ未来に」(仮)
日程／2019年10～11月の2週間 会場／愛知県立芸術大学サテライトギャラリー
- (3) 名古屋いけばな芸術展2019
日程／2019年10月29日(火)～11月3日(日・祝) 会場／市民ギャラリー栄
- (4) 名古屋市民美術展
日程／2019年11月19日(火)～24日(日) 会場／市民ギャラリー栄
- (5) 名鶴ダンスカンパニー公演「Nous」(仮)
日程／2019年11月23日(土・祝)・24日(日)〈2回〉 会場／青少年文化センター

2 参加事業

コンペティションとして20公演参加
賞／名古屋市民芸術祭賞、名古屋市民芸術祭特別賞

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭〈実行委員会形式〉

(負担金事業 予算額 6,000千円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭」(2019年10月26日(土)～11月17日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「芸どころ名古屋舞台」3公演を実施する。

- (1) 古典の日記念公演 能楽公演～伝統は時代を超えて～
日程／2019年11月1日(金)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂
- (2) 新世代の奏者たち～名古屋で花開く津軽三味線の響き～
日程／2019年11月10日(日)〈1回〉 会場／芸術創造センター
- (3) 名古屋三曲連盟が贈る三曲コンサート～未来へつなぐ日本の音色～
日程／2019年11月17日(日)〈1回〉 会場／青少年文化センター

(6) 文化芸術活動アドバイザー (補助金事業 予算額 540千円)

美術・文学・音楽・演劇の各分野で活躍中の講師が、無料で相談に応じ、アドバイスをする。
土曜日、日曜日13:30～17:00 文化情報ひろば
開設日数／60日

(7) 芸術創造賞の授与 (自主財源事業 予算額 1,108千円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、第35回芸術創造賞を授与する。

授賞件数／2件
授賞式／2019年6月

(8) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 予算額 9,300千円)

①イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出する。
受注目標/17件程度

②名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営する。
販売枚数/40,000枚程度

③文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設ける。
相談件数/300件程度

(9) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST (実行委員会形式)
(負担金事業 予算額 3,986千円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに寄与するため、幅広くアーティストを公募し、審査を経て、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを発行する。
日程/通年 会場/市内21ヶ所
認定アーティスト数/113組 ライセンス期間/1年

(10) 文芸による名古屋の魅力発信事業 コトノハなごや (実行委員会形式)
(負担金事業 予算額 2,520千円)

名古屋の魅力発信と、文芸分野の普及・育成を目的として、名古屋にまつわる写真から連想する物語を公募し、優秀作品を表彰する。また、作品募集期間中に参加体験プログラムを実施する。
作品募集期間/2019年6月～9月 選考委員/中村 航、吉川トリコ、武田 俊
授賞式/2019年12月

(11) Nagoya チラシデザイン大賞 (自主財源事業 予算額 500千円)

市内で開催される公演や美術展の広報用チラシを対象にデザインコンテストを開催し、優れた作品のデザイナーを表彰するとともに、応募されたチラシを展示する。
対象/2019年度に開催される公演・美術展のチラシ
作品展示/2020年3月10日(火)～15日(日) 会場/市民ギャラリー矢田

(12) アクテノン記念 江崎演劇賞 (自主財源事業 予算額 700千円)

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)の遺志を受け継ぎ、ご遺族からの寄附金をもとに、故人の名古屋市域における演劇分野の振興に対する情熱とアクテノンへの想いを後世に受け継ぐことを目的として演劇賞を創設する。
近年の演劇活動がとくに顕著で、名古屋市域の演劇の振興に貢献のあった個人または団体(概ね3年以上の活動実績を有すること)を表彰する。
選考会/2020年2月 授賞件数/1件(正賞:表彰状、副賞:賞金300千円)
授賞式/2020年3月

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図る。

(1) 文化情報誌の発行 (補助金事業 予算額 3,750千円)

「なごや文化情報」(12ページ)を発行し、名古屋地域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供する。

発行部数/8,000部

発行回数/6回(隔月刊)

(2) Webでの催し物案内 ナゴヤ・アート・ナビ (補助金事業 予算額 1,530千円)

市民に、市内で行われる劇場や美術館の催し物をWeb上で案内するため、文化芸術イベントを検索・閲覧できる「ナゴヤ・アート・ナビ」を運営する。

掲載事業件数/約6,500件

(3) 文化情報ひろばの運営 (補助金事業 予算額 5,827千円)

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、CINEMAPORTでの映画情報の提供、文化芸術関係の図書の閲覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営する。

4 文化芸術を活用した他分野連携事業の試行実施

名古屋市文化振興計画2020に掲げる「新たな文化芸術の推進体制(名古屋版アーツカウンシル)の検討」を進めるため、必要な事業を実施(試行)する。

名古屋版アーツカウンシルの実施(試行)〈実行委員会形式〉(負担金事業 予算額 7,000千円)

(1) 他分野連携事業

①文化活動連携支援事業

まちづくり、産業、教育、福祉、国際交流などの他分野と連携する文化芸術活動を助成し、伴走型の支援を行う。

②若手芸術家育成事業

名古屋を中心に活動する若手芸術家が、全国的にも著名なアーティストと接する機会を設けるなど、若手芸術家の育成に資する企画を実施する。

(2) 体制の構築に向けた検討

名古屋版アーツカウンシルの組織体制、事業内容について、2020年度からの開始に向けて検討する。

5 文化活動拠点づくりのための文化事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行う。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託した名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営を行う。

※天白・名東・北文化小劇場においては2019年4月から天井脱落対策工事のため休館予定。

(2) 施設事業

上記の23施設において、約400事業を実施する予定。主な事業は下記の通り。

主な事業

- 1 ナゴヤワークショップフェスタ2019「ポッシブル！」
期間/2019年8月6日（火）～12日（月・祝）
講座数/60講座
- 2 未来の鑑賞者育成事業
公益還元事業として、市内の小学4年生に劇場で生のクラシック音楽に触れていただくコンサートを実施する。
公演数/12公演、参加校/45校